

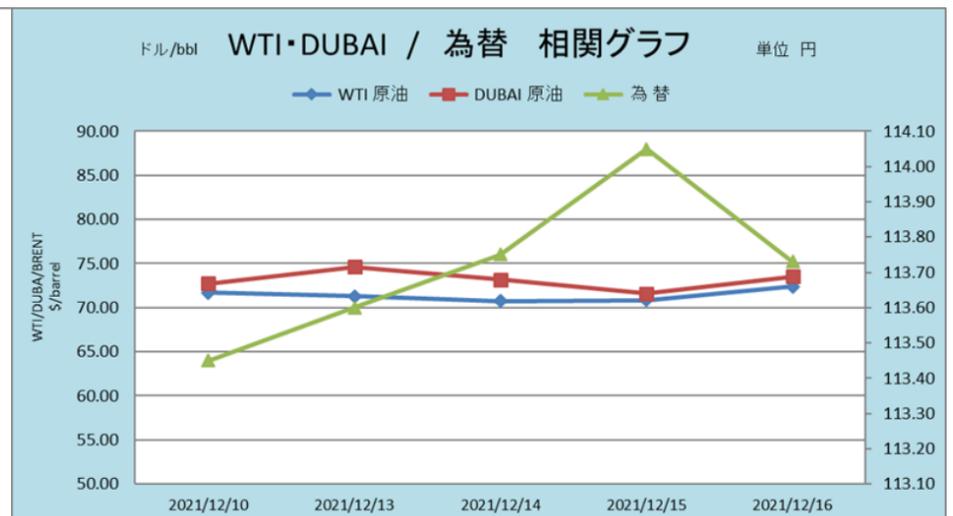
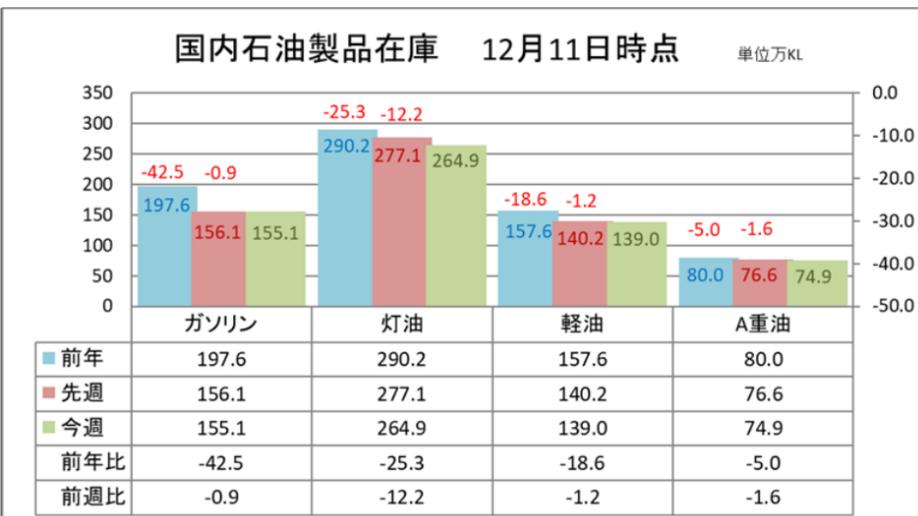
イデックスオイルレポート ~For a week~

2021/12/17作成 (株)新出光

【概況】<オミクロン株への警戒感はあるものの経済指標が好調のため上伸>

- 10日、米労働省が発表した11月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比6.8%上昇し、WTI原油で一時72.33ドルまで上昇しました。
- 13日、オミクロン株が広がる英国で、同株感染者の死亡例が初めて確認されたと伝わりました。これをきっかけに感染拡大への警戒感が再燃したことで、一部の国で行動規制や渡航規制が強化される中、リスク回避や利益確定の売りが先行しました。
- 14日、国際エネルギー機関(IEA)は月報で、今年と来年の世界の石油需要予想をともに日量10万バレル下方修正しました。新型コロナウイルスの新変異株「オミクロン株」感染拡大を背景に英国をはじめ各国政府が渡航規制などの対策を強化しており、ジェット燃料の需要鈍化が予想されることが主因のようです。これを受けて供給過剰懸念が再燃し、WTI原油で一時69.51ドルまで下落しました。
- 15日、米エネルギー情報局(EIA)が発表した米原油在庫は前週比460万バレル減と、市場予想(210万バレル減)を大きく上回る取り崩しとなりました。ガソリン在庫は70万バレル減(予想160万バレル増)、ディスティレート(留出油)在庫も290万バレル減(予想70万バレル増)でした。オミクロン株の規制強化の影響も懸念される中、堅調な需要が確認され、原油が買い戻される流れに転じたようです。
- 16日、米連邦公開市場委員会(FOMC)では、米国債などを買うための量的金融緩和策の縮小ペースを加速させ、終了時期を2022年3月に前倒しする方針を決めました。また、実質GDP(国内総生産)伸び率も堅調な予想を示したことを受けて、米景気回復に伴うエネルギー需要見直しにも期待が広がり、原油が買われました。

12月17日 17:00現在 WTI原油 71.64ドル 為替 1ドル 113.64円



	次回元売変動予測		【製品卸価格】<残り1週間での売り込み必至>
	12/23~	元売変動予測	
ガソリン	→	-0.5~±0	<p>《今週》今週の元売り仕切り改定は3社ともに「+2.5円」の値上げ改定でした。原油相場の動きが激しく、改定幅も比較的大きくなっています。コスト上昇のため先週末からは月間リンク玉の売り込みは一時弱まり、週決め玉による値上げ前の仮需の困り込みの動きが見られました。値上げ改定後は月間リンク玉の売りが再度強まっている状況です。今回改定は+2.5円でしたが、業者間販売においては、現状ガソリンと灯油は+1.5円程度しか市況が上昇していないままとなっています。</p> <p>《12月18日以降》次回の元売り改定は、現状の原油コストで「-0.5~±0円」の小幅改定予測です。今回発表される仕切り改定は12月23日~1月5日までの二週間分が発表される予定となっています。ただ1月の仕切りに加味される予定の原油の調整金が+1.0円程度あることから、調整金がいつから適用されるのが焦点です。週末の市況は月間・週間ともに売りが強まっています。ただ秋田や金沢などでは出荷規制が出されており、ターム等の月内枠消化への影響も出てきそうです。週末は全国的に寒気が流れ、日本海側は特に荒れる予報がでており、これからの追加の規制情報にも注意が必要となりそうです。</p>
灯油	→	-0.5~±0	
軽油	→	-0.5~±0	
A重油	→	-0.5~±0	
LSA	→	-0.5~±0	

※現段階の原油コストによる予想です。

【次世代エネルギー】<水素細菌でのCO2を活用した食品や燃料生成>

近年水素をエネルギー源にCO2を有機物に変換する水素細菌が注目されており、CO2削減に貢献することに加え、食品やプラスチック製品、バイオ燃料などをつくることができます。水素細菌は自然界に存在し、CO2を取り込んで有機物に変換しながら自ら増殖する菌です。水素細菌を培養するには、まず専用タンクの中で水を電気分解し酸素と水素を発生させ、そこにCO2を注入して水素細菌を増殖させます。増殖した菌は体内にたんぱく質をためており、抽出して利用します。遺伝子を組み換えることでバイオ燃料や化学物質も生成することができます。海外ではフィンランドのソーラー・フーズが水素細菌を使ったたんぱく質の新工場を2023年中に稼働させる計画を発表しています。また同社ではすでにパスタやミートボールなど20種類の食品を自前で開発しています。この水素細菌については国内でも大手食品メーカーなどが共同で開発を進めています。

[出典]

① <https://www.nikkei.com/article/DGKKZO78303720Z01C21A2TEC000/>